

第 4 回審議会

令和 3 年度下水道事業会計決算説明

令和 4 年 1 0 月 1 7 日
下水道部下水道総務室



くらしイキイキ快適下水道

目次

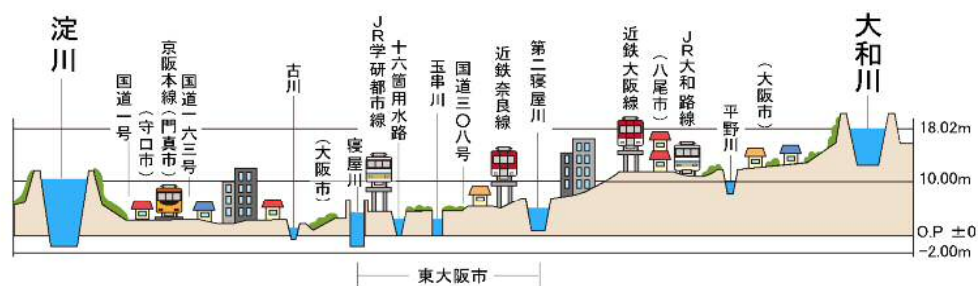
1. 下水道事業の現況
2. 決算概要
3. 経営状況
4. 財務諸表

下水道事業の現況

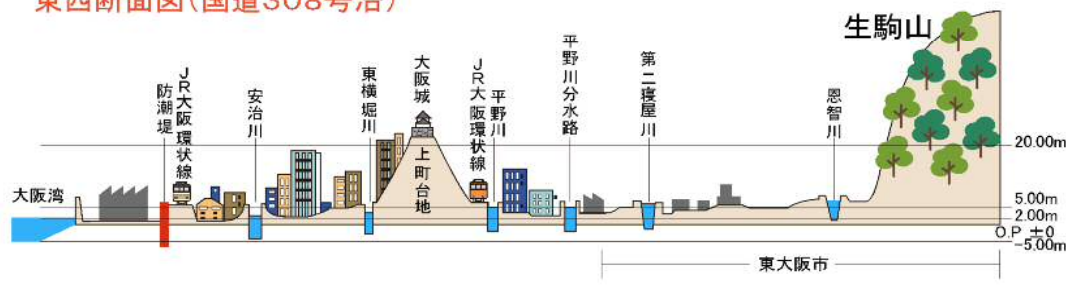
[地形的特性]

○東大阪市の大部分（約84%）は淀川・大和川よりも低い低平地となっており、降った雨を管渠やポンプ等の下水道施設により強制的に河川に排水しなければ、浸水被害が発生しやすい地形的な特徴の「内水域」のため、本市は**雨水排水対策を重点施策と位置付け**ています。

南北断面図(中央環状線沿)



東西断面図(国道308号沿)

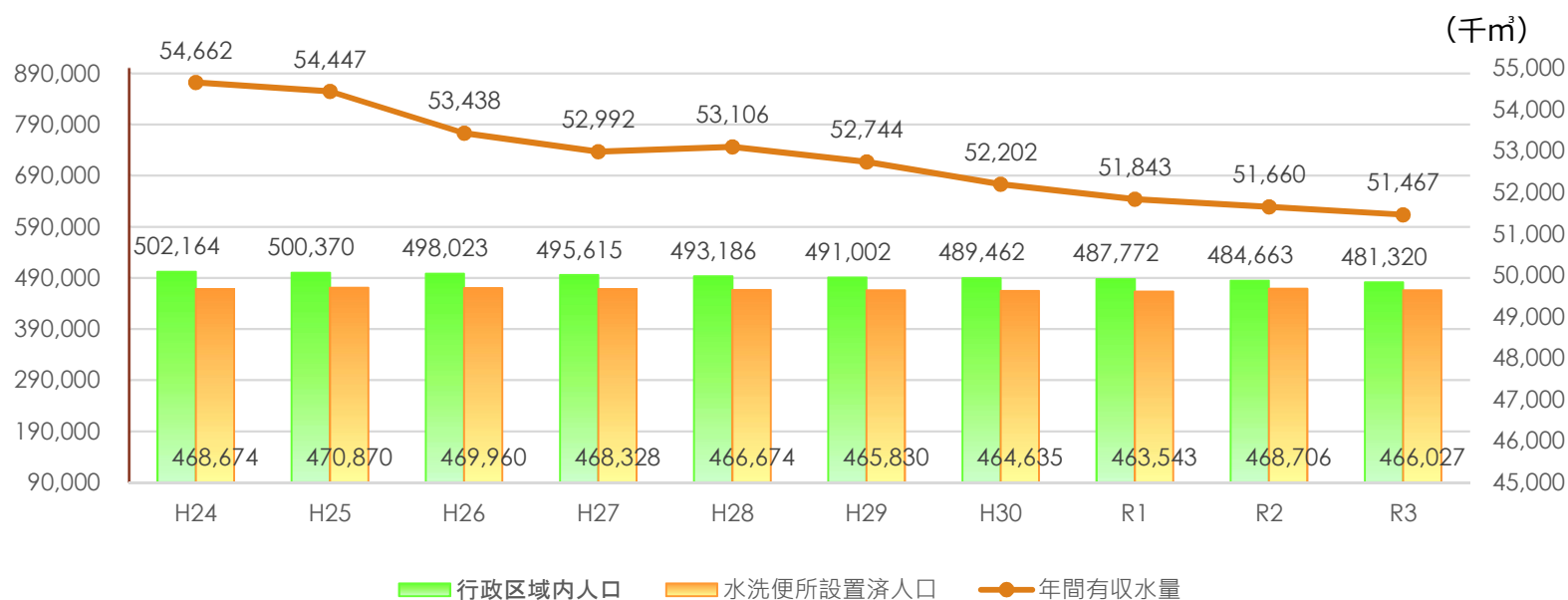


浸水被害の様子(昭和57年度)



下水道事業の現況

[業務量]



東大阪市の人口は年々減少していますが、その中でも浄化槽から水洗便所に切替える方が増えているため、下水道使用料をお支払い頂いている人口である水洗便所設置済人口はほぼ横ばいで推移しています。

世帯数はほぼ横ばいですが、単身世帯の増加等によって一世帯当たりの水需要が減少しているため、有収水量は減少し続けています。

下水道事業の現況

[建設改良事業]

令和3年度は主に浸水対策及び改築更新事業を実施しました。増補管計画に則って、雨水増補管（新岸田堂幹線）の整備を進め、老朽化した下水道管は主に更生工事により耐震化を行うなどしました。

増補管計画 及び 進捗状況	既設の下水管で流しきれない雨水に対応するための雨水増補管を整備し、浸水被害を軽減する。			
	指標	整備率（整備延長／計画延長）		
	実績	93.3%	95.6%	97.8%
	実施年度	R1	R2	R3

工事現場前のお知らせ

浸水対策の工事を行っています

工事場所: 東大阪市柏田西一丁目～金岡四丁目地内
 工期: 令和元年12月11日～令和5年3月31日(予定)
 発注者: 東大阪市上下水道局
 施工者: 株式会社 浅沼組

工事内容

ご近隣の皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平常より下水道事業に対し深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

今回、東大阪市柏田西一丁目から金岡四丁目間において、ゲリラ豪雨等の大雨時、既存の下水道では流しきれない雨水を一時的に貯留し、排水するための「増補管」を整備する工事を行います。

ご近隣の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、安全優先にて早期完成に向け最善の努力を行いますので、皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

株式会社 浅沼組

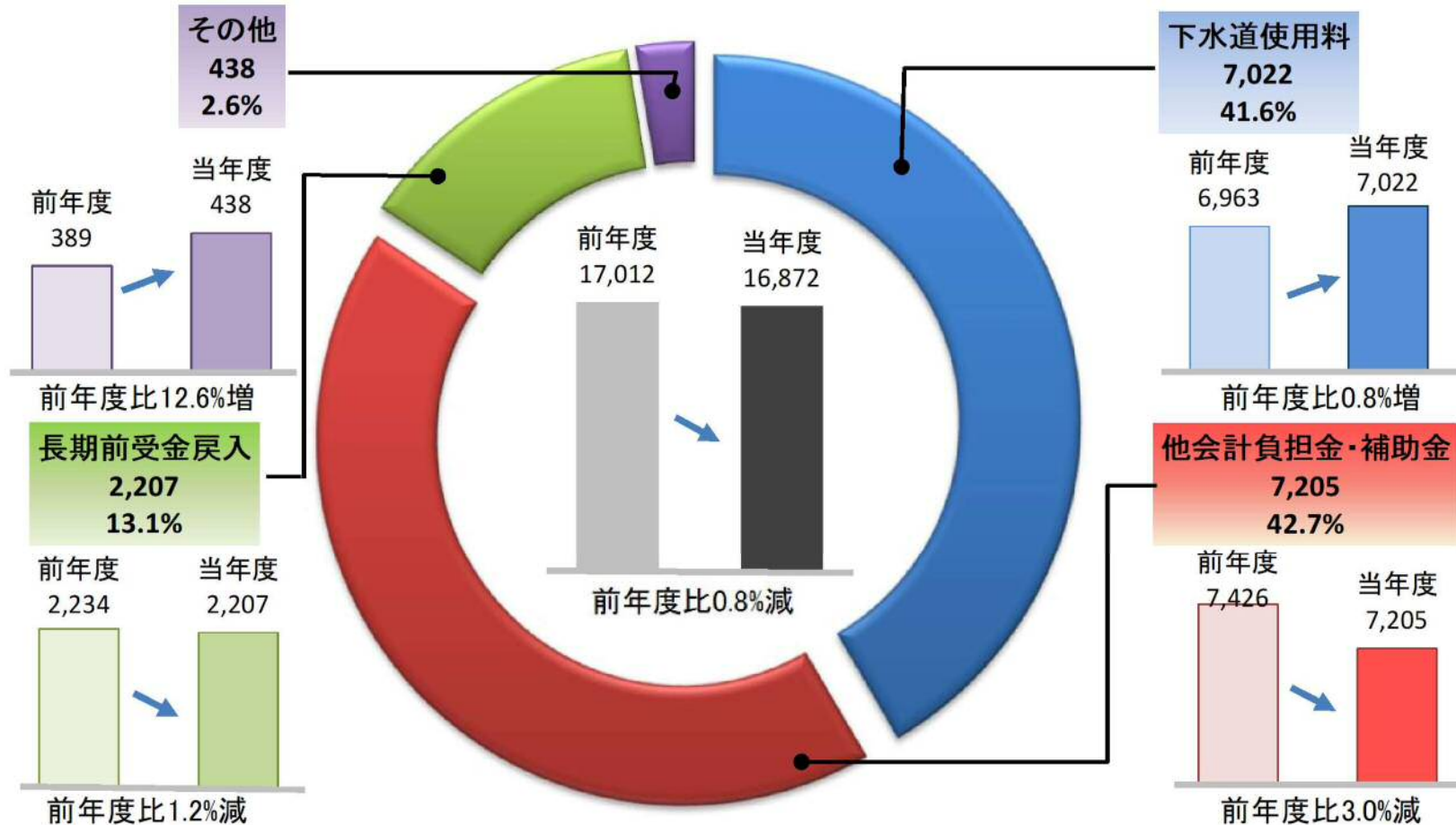





[財政状況]

当年度**純利益として9億1,557万6,741円**を計上いたしました。黒字決算となりましたが、事業の根幹収入である下水道使用料は減少が続き、施設の老朽化や多額の借金の返済が進むため、厳しい資金状況が今後も続く見込みです。

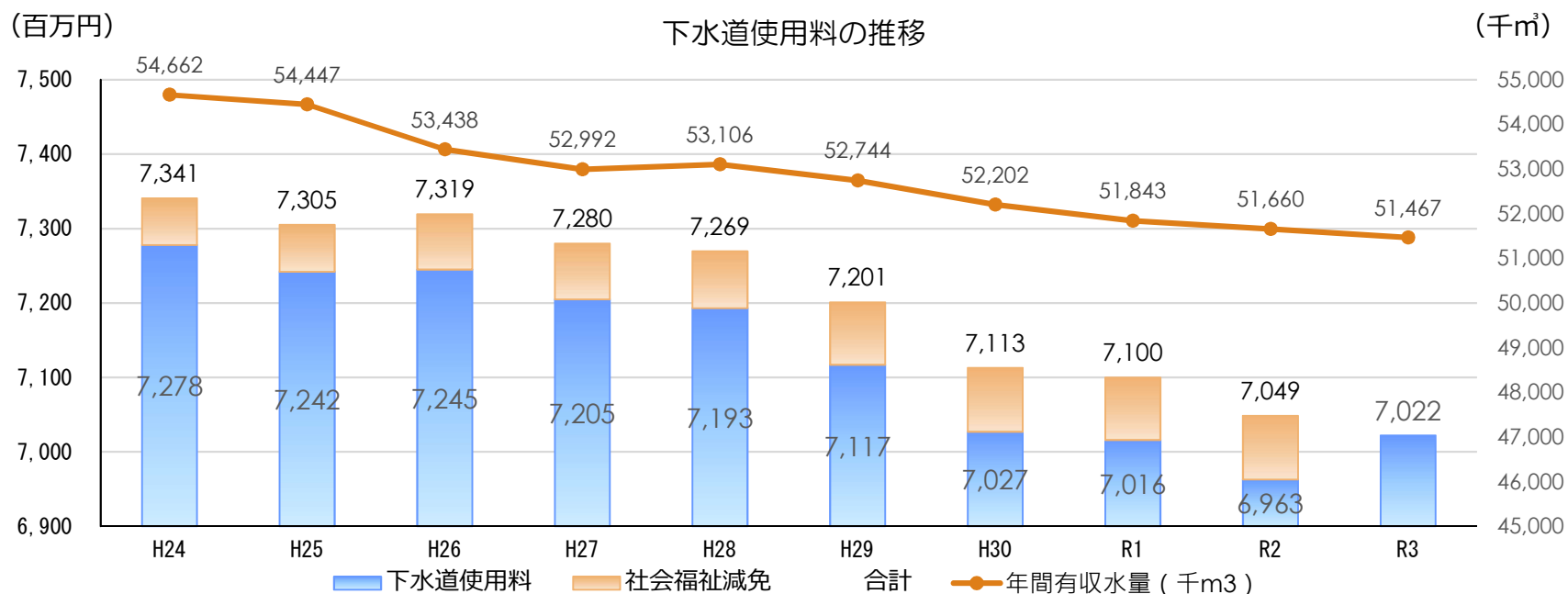
決算概要 収益的収入



【寸評】

下水道使用料は社会福祉減免制度の廃止により、市に対して請求していた分が、使用者に対して請求することになったため、増加しています。

決算概要 下水道使用料 (汚水の排除に係る財源)

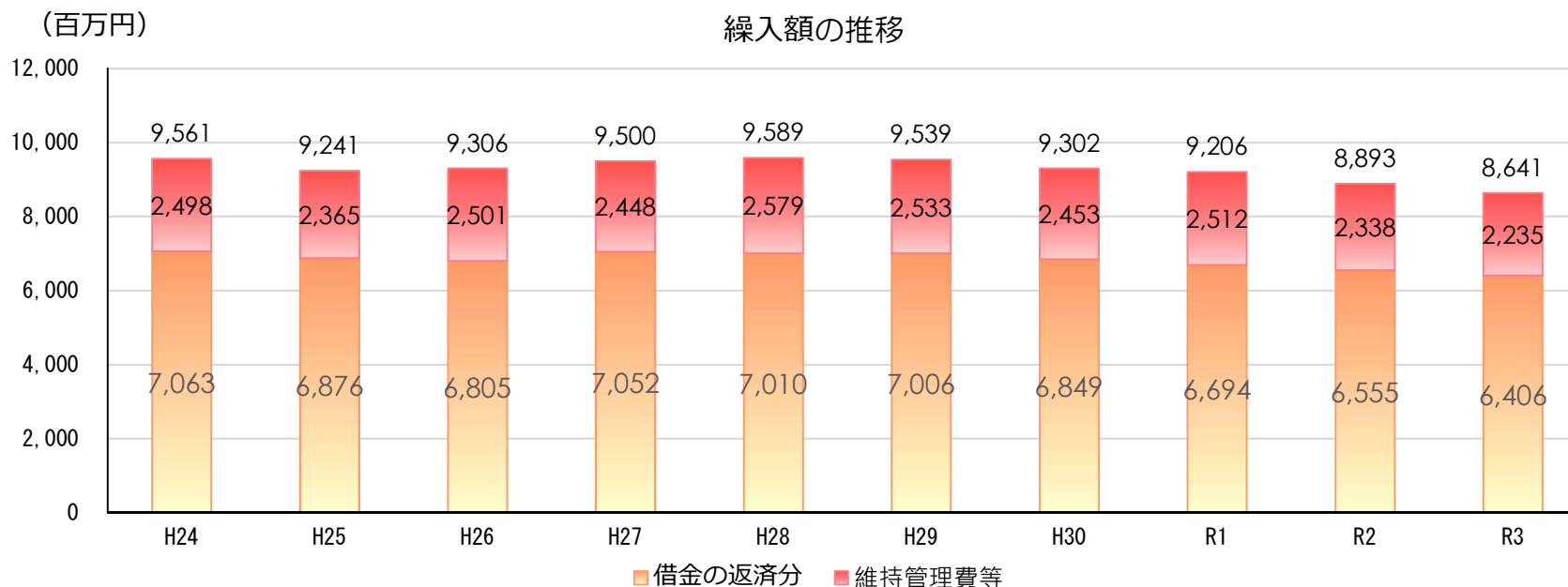


下水道使用料について

下水道使用料収入は前述の通り、使用者への請求額が増加したことによって、前年度と比べて増加しています。

一方で一般会計からの収入は無くなったため、収入の全体額は減少しており、有収水量も減少が続いています。

決算概要 他会計負担金・補助金 (雨水の排除に係る財源)

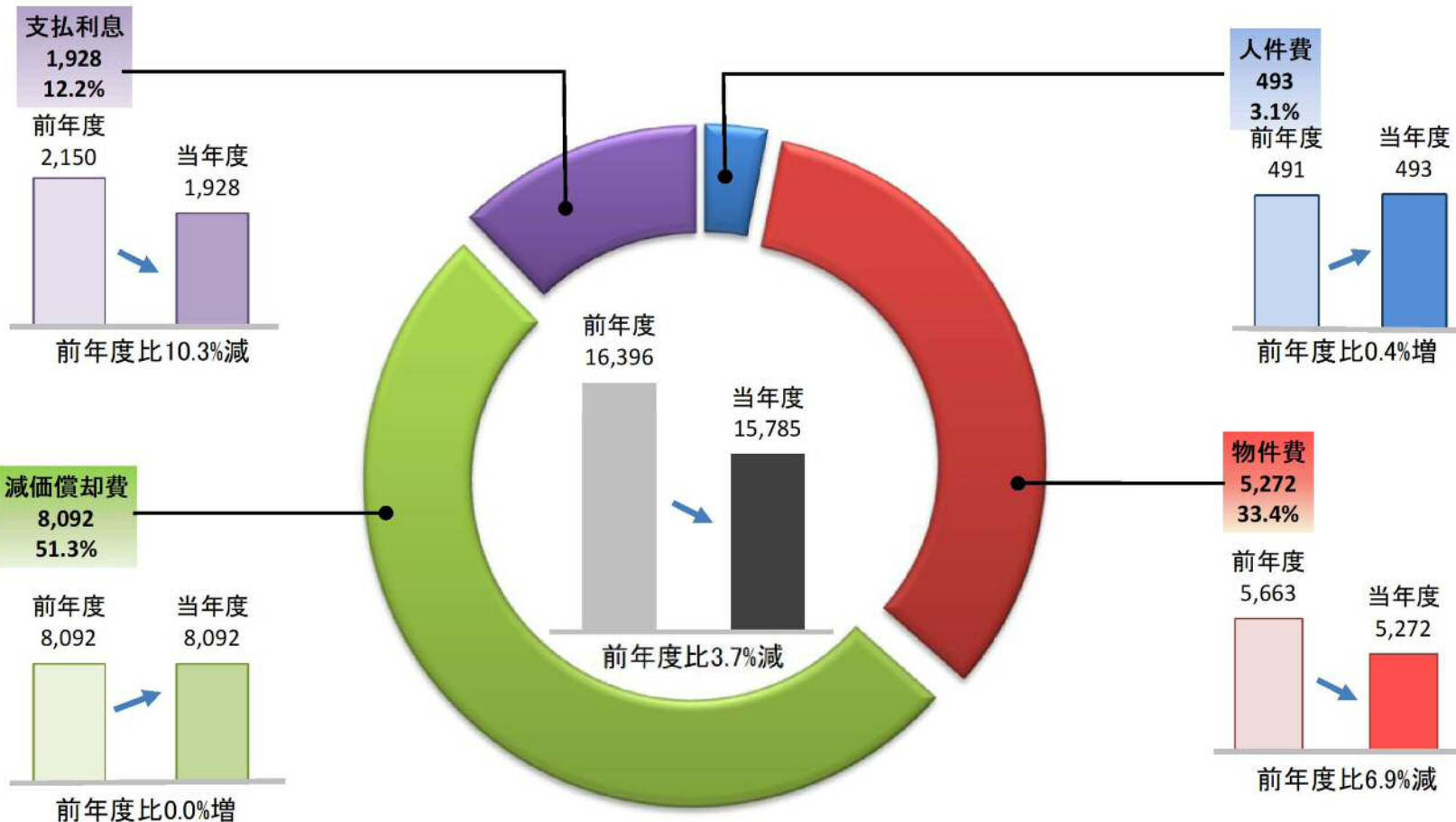


一般会計繰入金について

一般会計繰入金の主な収入項目の一つである借金返済（公債費）が年々減少しているため、減少傾向が続いています。

多額の借金返済は今後も続くため、一般会計繰入金も同様に減少していきます。

決算概要 収益の支出

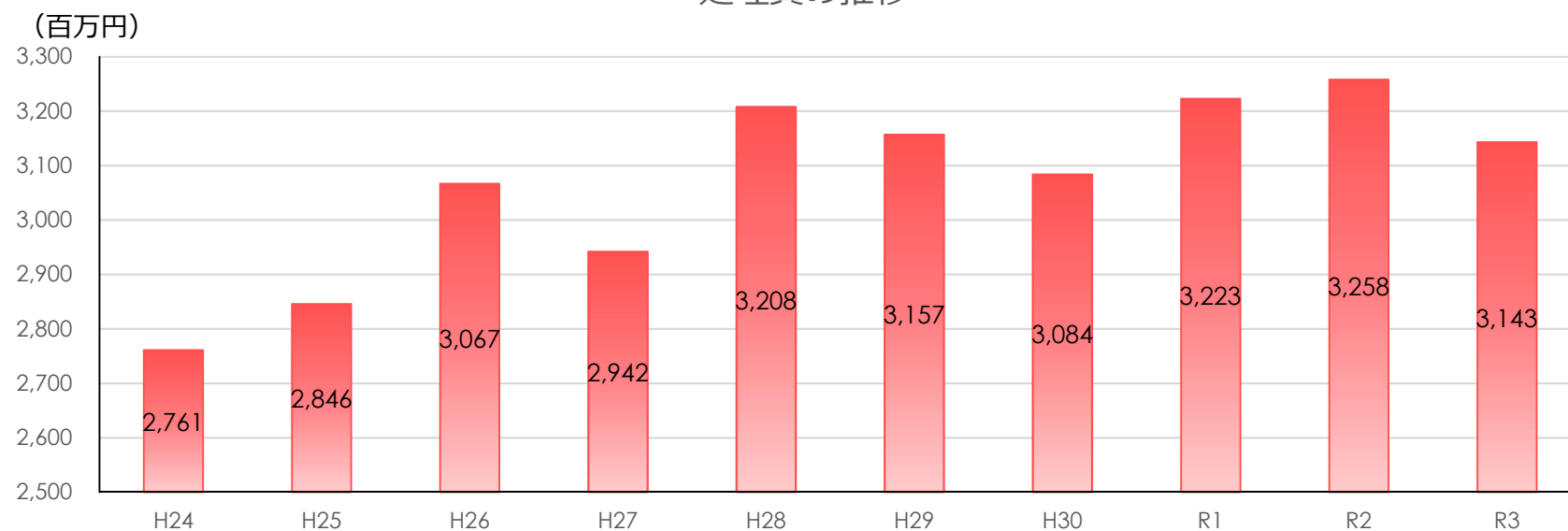


【寸評】

物件費は処理費の減少などを始めとして全体的に減少しました。
支払利息の減少が続いています。

決算概要 処理費

処理費の推移



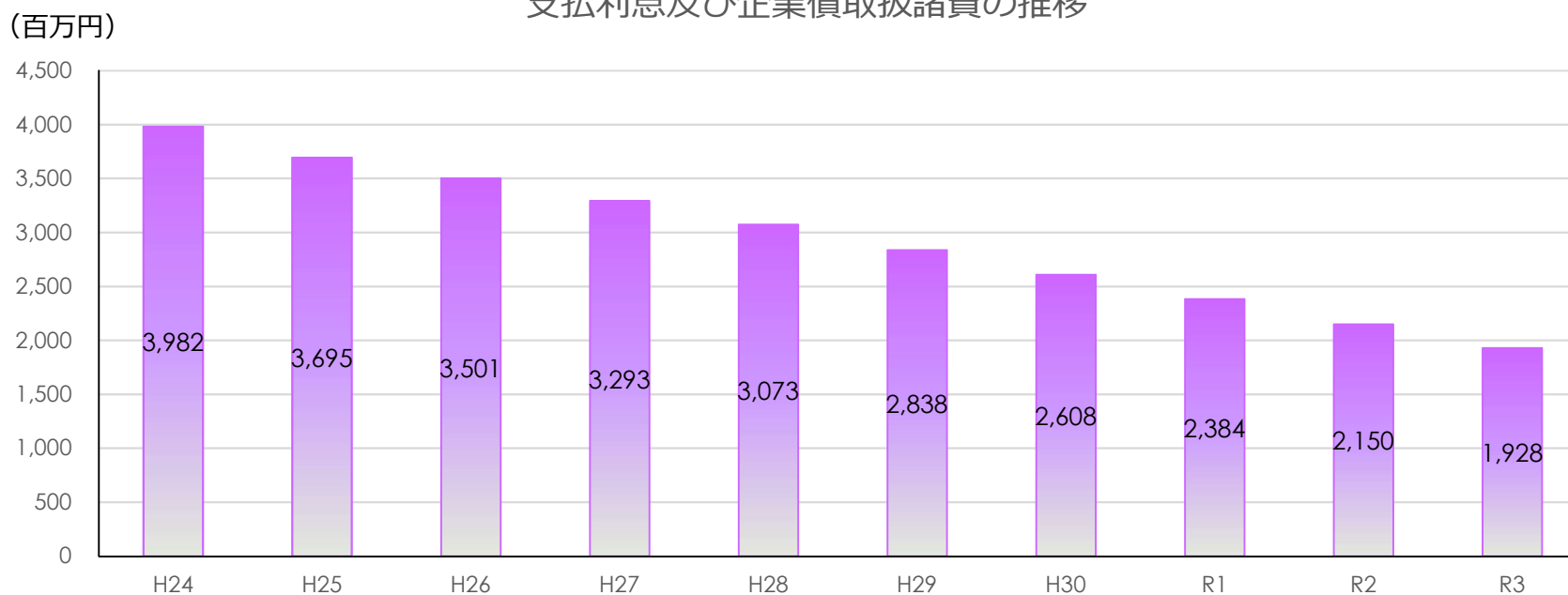
処理費（物件費）について

汚水は大阪府と大阪市の処理場に流しています。

令和3年度は大阪市からの請求額が減少したため、前年度対比で大きく減少しました。

決算概要 支払利息及び企業債取 扱諸費

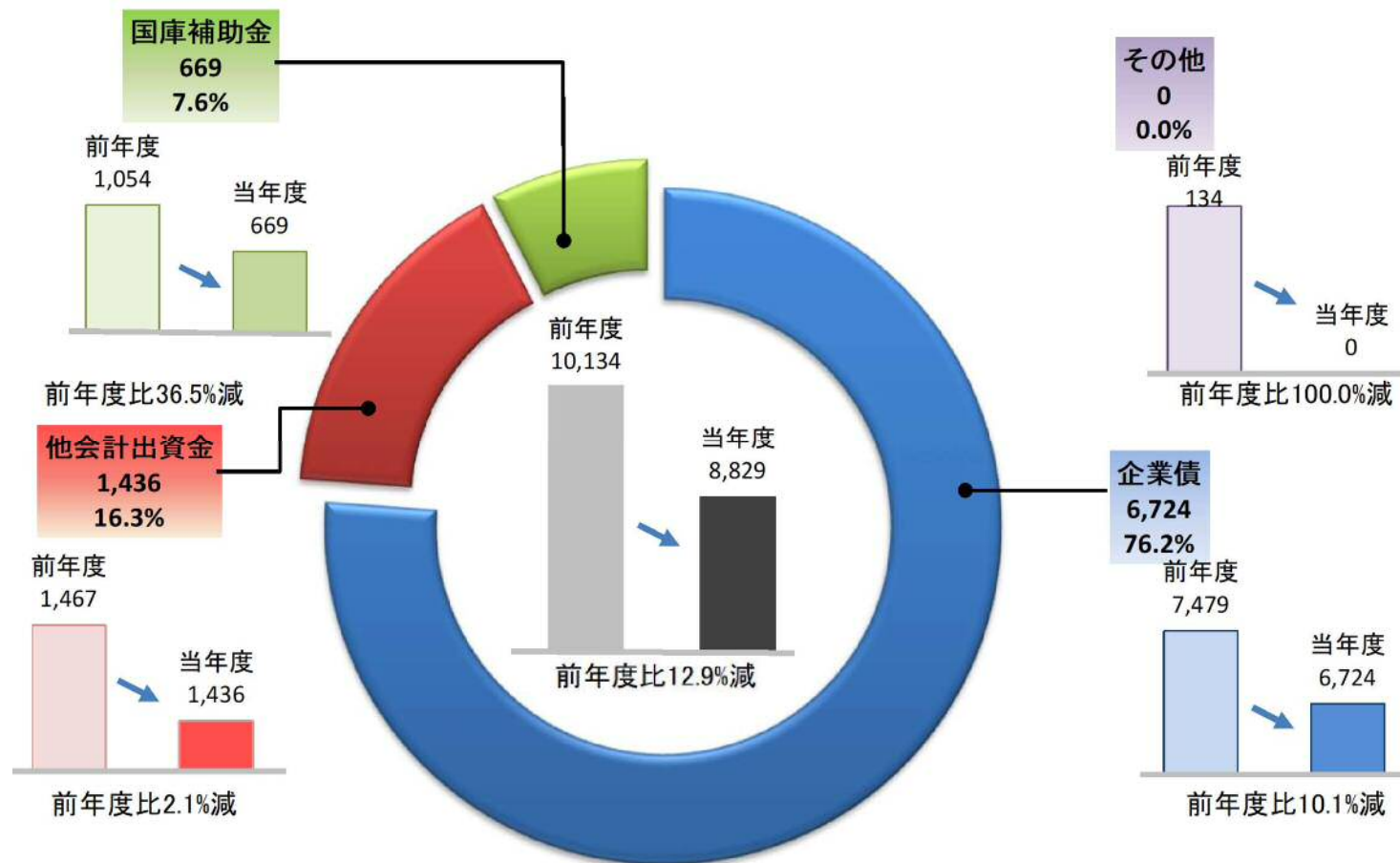
支払利息及び企業債取扱諸費の推移



支払利息及び企業債取扱諸費について

多額の借金返済が続いているため、借金を返済する際の利息額も減少し続けています。

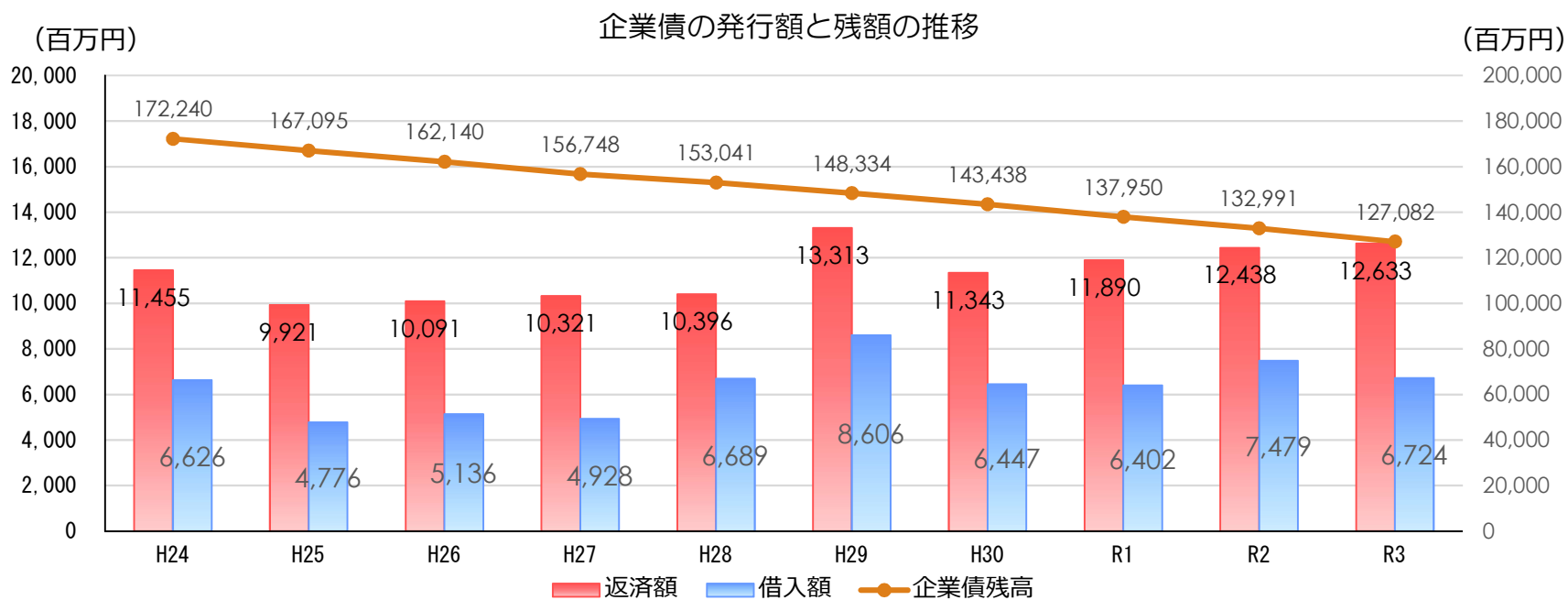
決算概要 資本的収入



【寸評】

前年度からの繰越工事が減少した等で建設事業費が減少したことにより、企業債、国庫補助金が減少しています。

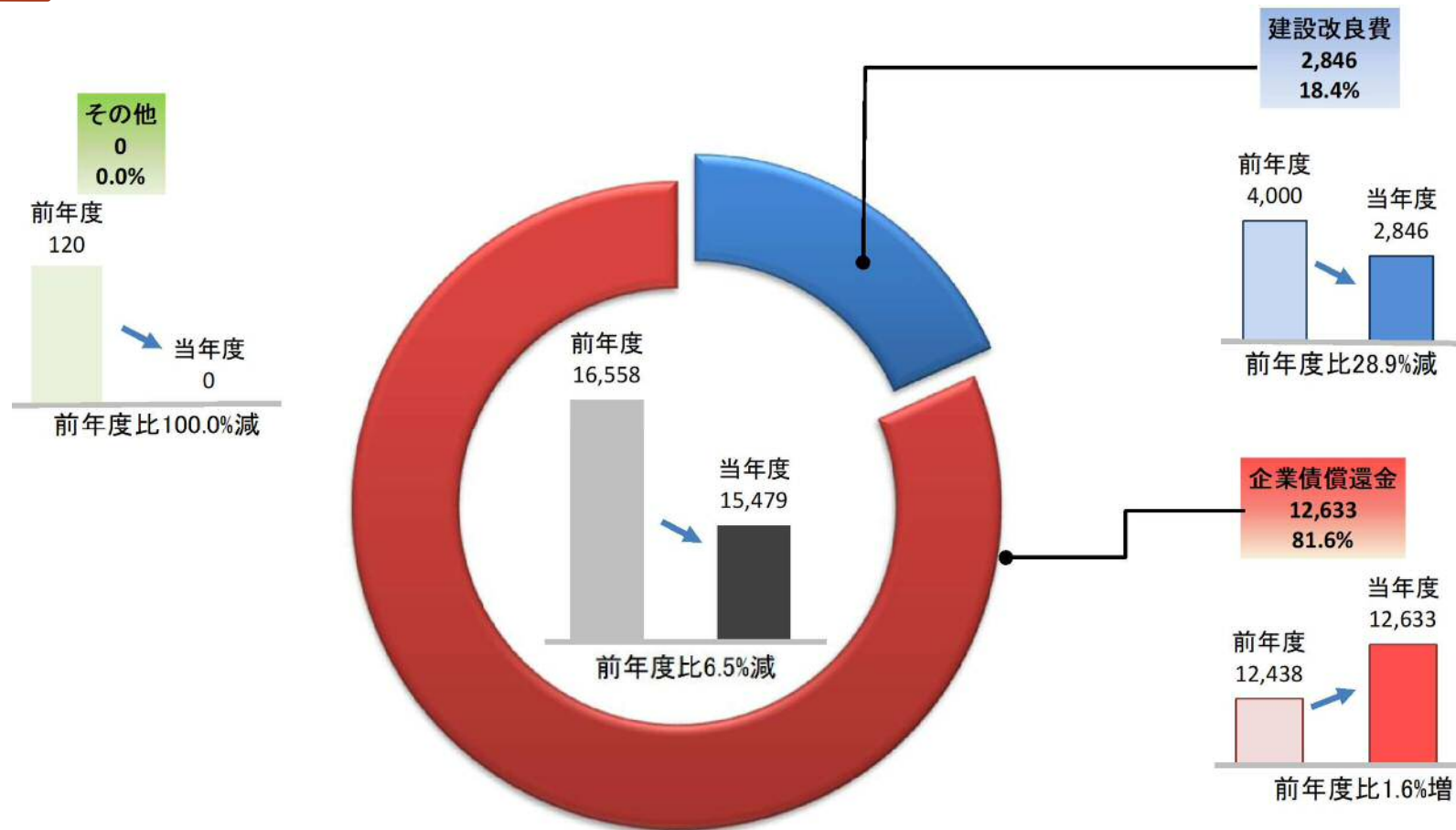
決算概要 企業債



企業債について

借金の返済額が常に大きく借入額を上回っているため、借金の残高も年間約50億円ずつと大きく減り続けています。

決算概要 資本的支出

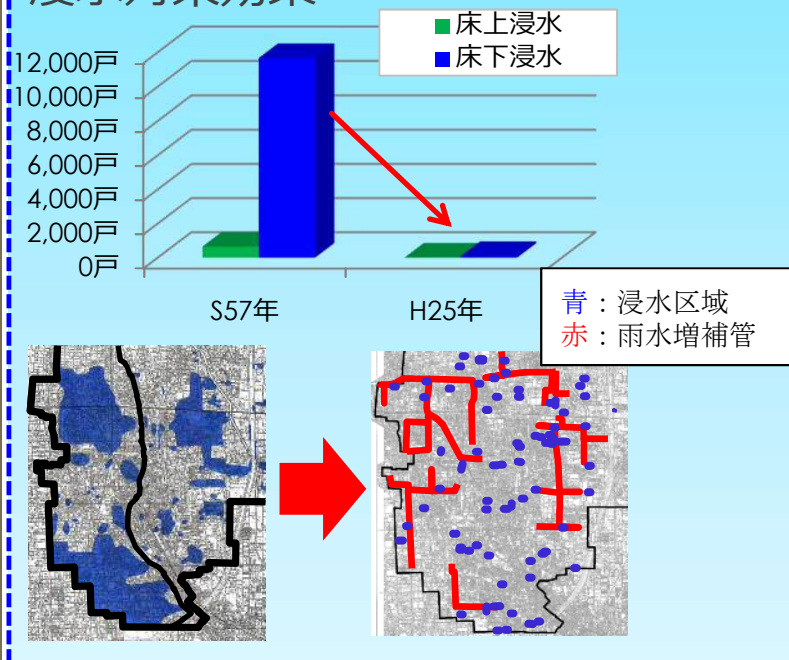


【寸評】

前年度からの繰越工事が減少した等により、建設改良費が減少しています。
借金返済が増加傾向にあります。

決算概要 建設改良費

浸水対策効果



浸水対策事業について

本市は浸水対策に力を入れてきました。

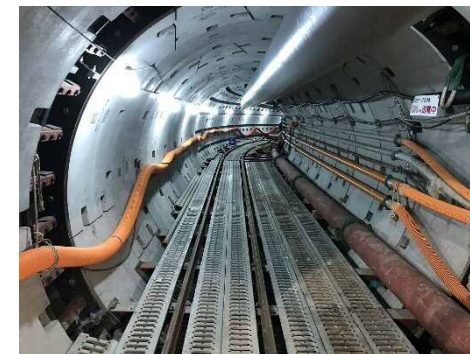
同程度の降雨量であった昭和57年度と平成25年度を比べれば、はっきりと効果を見ることが出来ます。

現在は岸田堂で増補管工事が行われており、引き続き進めてまいります。

地中を掘削するマシン



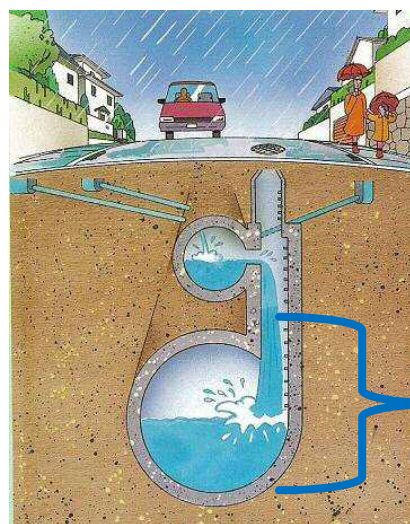
増補管 施行中



増補管 完成



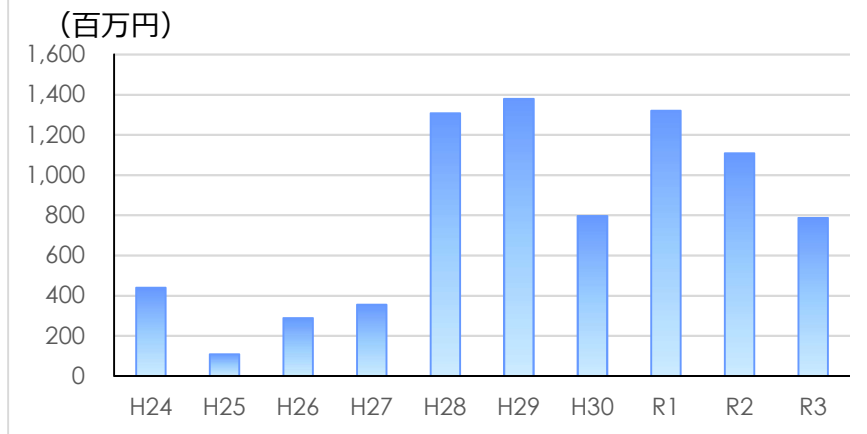
増補管イメージ



下水道管の下に更に大きな増補管を作り、下水道管から溢れる雨水を増補管で受け止める

決算概要 建設改良費

改築更新事業の推移



改築更新事業について（下水道管）

管きよの老朽化が進むと道路陥没の発生や排水能力の低下の危険があるため、計画的に改築更新事業を行います。

また、災害に備えた耐震化工事も実施していきます。

道路陥没の様子

下水道管の老朽化が進むと、土砂が管に入り込むなどして、流れが悪くなったり、陥没を引き起こしてしまいます。



管更生の様子

老朽化が進み、脆くなったり、水の流れが悪くなった管を更生しています。

更生前



更生後

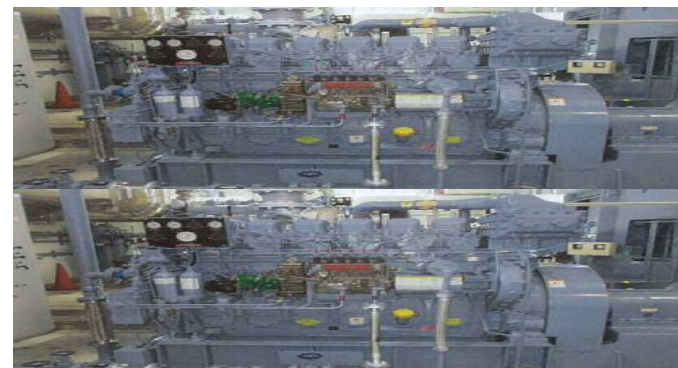


決算概要 建設改良費

改築更新事業について（ポンプ場）

ポンプ機器類やその運転を制御する電気機器類等は24時間365日稼働しており、適切に維持管理しなければ処理場等へ送水出来なくなるため、ポンプ場は重要施設です。

ポンプ機器



ポンプ機器は多くの部品からなり、維持管理を行うには多くの部品を分解して交換、洗浄等を行う必要があります。

ポンプ機器分解中

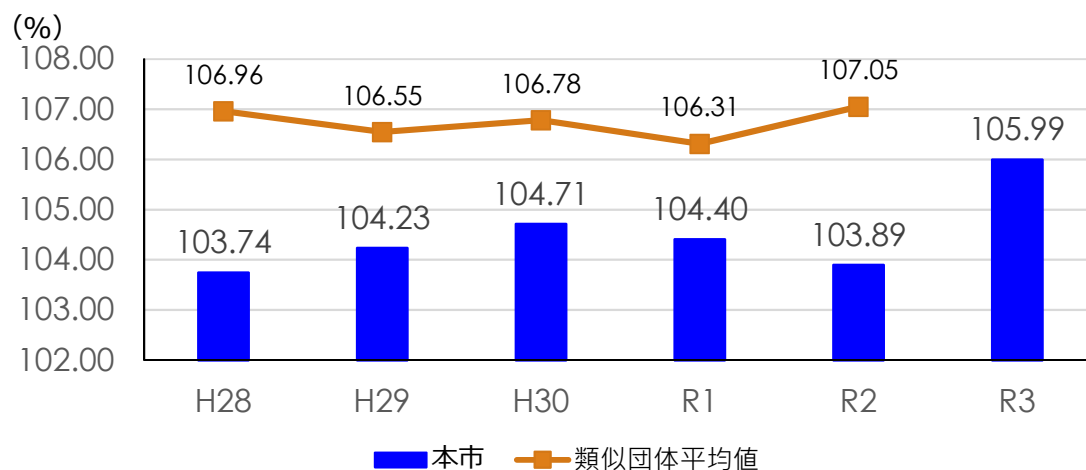


経営状況 ① 経常収支比率

指標の意味

経営成績

下水道使用料や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費等の費用をどの程度賄えているかを表す指標であり、単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっていることが必要です。



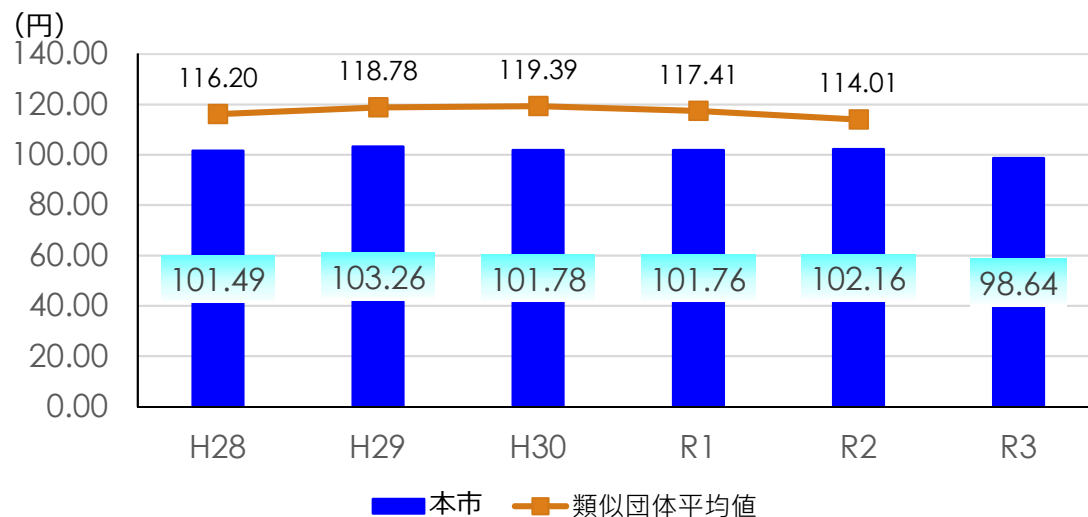
令和3年度:105.99%
(2.1ポイント上昇)
※高いほど良い

・ 経常収支比率は昨年度に引き続き100%を超えており経常収益で経常費用を賄えています。

経営状況 ②汚水処理原価

指標の意味

汚水処理に係るコスト
汚水1 m³あたりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標です。



令和3年度:98.64円

(3.52円低下)

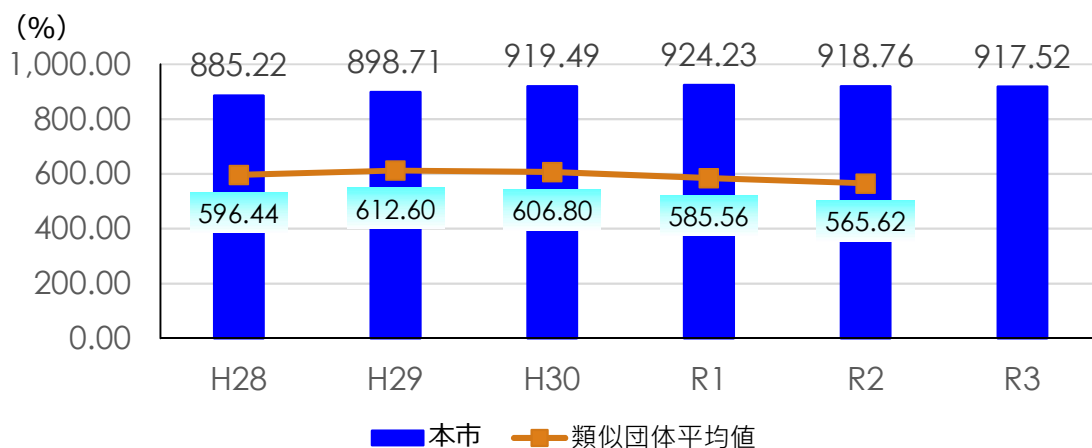
※低いほど良い

- ・本市は単独で処理場を持っておらず、人口密度も高いため、全国的に見ても汚水処理の経費は低く抑えられています。

経営状況 ③企業債残高対事業規模比率

指標の意味

企業債残高の規模
 使用料収入に対する企業債残高の割合であり、この比率が高い場合は、投資規模は適切か、使用料水準は適切かといった分析を行い、必要な経営改善を図っていく必要があります。



令和3年度: 917.52%
 (1.24ポイント低下)
 ※低いほど良い

- ・ 企業債の残高は年間50億円ずつ減っていますが、使用料収入も減少しているため、高止まりが続いています。
- ・ 他団体と比べて高いのは、これまで本市が浸水対策事業に力を入れてきたためです。

経営状況 まとめ

I 令和2年度に策定した経営戦略よりも収支状況は改善しています。

- ①下水道施設の維持費が減少しました。
- ②実質的な下水道使用料収入は減少が続いています。

II 経営上の課題

- ①下水道施設の老朽化が進んでいます。
- ②企業債残高対事業規模比率の高止まりしています。
- ③令和3年度決算では増加したが、経常収支比率は減少傾向です。

III 不透明な先行き

- ①国の厳しい財政事情によって補助金の減額の可能性があります。
- ②増加するゲリラ豪雨などによる浸水被害を解消するため、今後も引き続き、浸水対策事業を継続する必要があります。

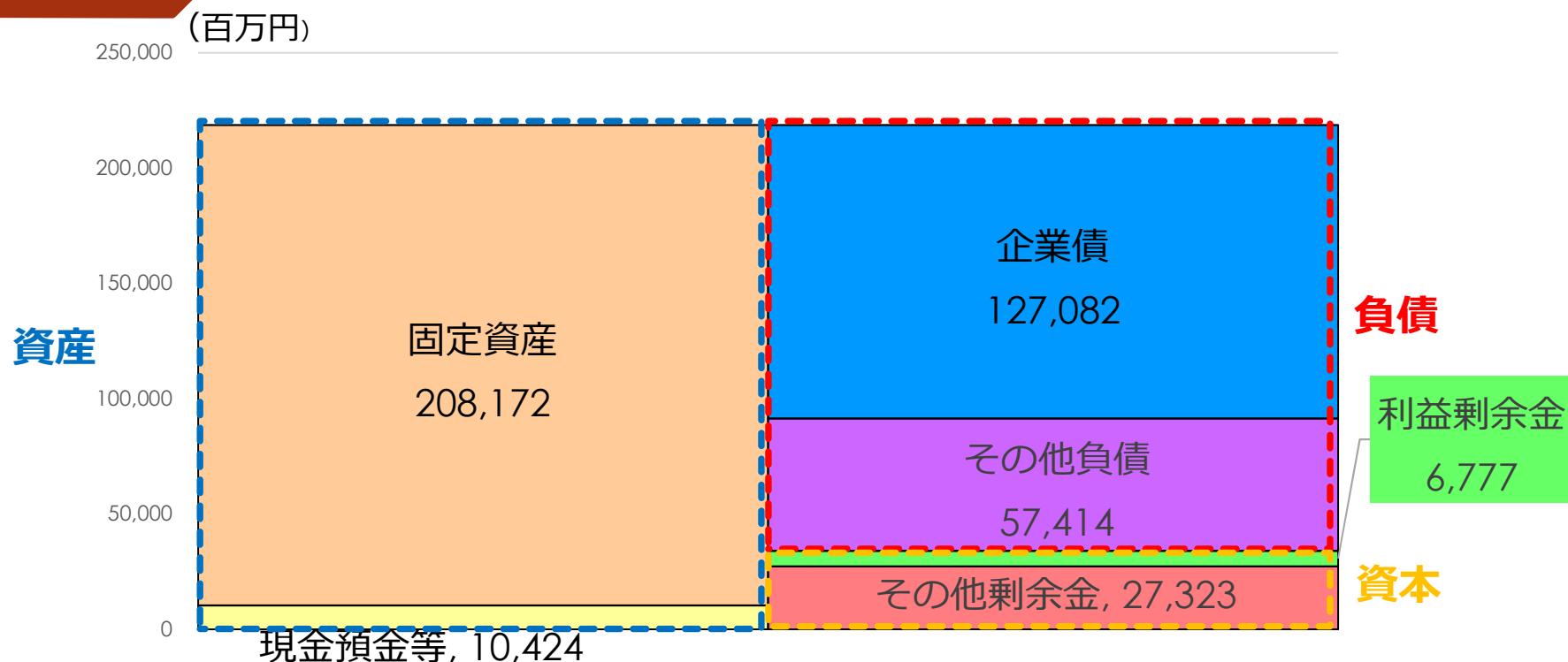
令和4年度に向こう5年間の詳細なストックマネジメント計画を策定予定であり、より具体的な経営状況が分かります。（ストックマネジメントとは下水道施設の更新計画のこと）

経営戦略は必要に応じて時点修正を行いながら、下水道事業に求められる役割を担い続けるため、更なる経営の効率化に努めてまいります。

財務諸表 比較貸借対照表

科 目	金 額			科 目	金 額		
	令和3年度	令和2年度	増 減		令和3年度	令和2年度	増 減
(資本の部)				(負債の部)			
1 固定資産	208,171,905,110	213,649,719,842	△ 5,477,814,732	3 固定負債	115,109,455,563	120,847,195,098	△ 5,737,739,535
(1) 有形固定資産	178,252,737,835	182,785,354,637	△ 4,532,616,802	(1) 企業債	114,642,996,448	120,358,112,417	△ 5,715,115,969
(イ)土地	393,998,581	394,177,981	△ 179,400	(2) 引当金	466,459,115	489,082,681	△ 22,623,566
(ロ)建物	280,219,434	293,972,263	△ 13,752,829	4 流動負債	14,796,730,074	14,109,003,909	687,726,165
(ハ)構築物	172,680,322,060	178,058,302,795	△ 5,377,980,735	(1) 企業債	12,439,115,969	12,632,800,137	△ 193,684,168
(ニ)機械及び装置	2,274,636,255	2,483,286,803	△ 208,650,548	(2) 未払金	2,299,656,285	1,418,852,153	880,804,132
(ホ)車両及び運搬具	2,220,535	3,295,239	△ 1,074,704	(3) 引当金	45,891,000	49,533,000	△ 3,642,000
(ヘ)工具器具及び備品	23,671,858	22,583,959	1,087,899	(4) 預り金	12,066,820	7,818,619	4,248,201
(ト)リース資産	81,289	81,289	0	5 繰延収益	54,590,029,432	56,114,373,334	△ 1,524,343,902
(フ)建設仮勘定	2,597,587,823	1,529,654,308	1,067,933,515	(1) 長期前受金	84,618,980,892	83,990,397,847	628,583,045
(2) 無形固定資産	29,888,667,275	30,833,865,205	△ 945,197,930	(2) 収益化累計額	△ 30,028,951,460	△ 27,876,024,513	△ 2,152,926,947
(イ)施設利用権	29,183,333,649	30,098,884,387	△ 915,550,738	負債合計	184,496,215,069	191,070,572,341	△ 6,574,357,272
(ロ)庁舎利用権	685,261,498	708,581,618	△ 23,320,120	(資本の部)			
(ハ)その他無形固定資産	20,072,128	26,399,200	△ 6,327,072	5 資本金	20,989,243,435	19,553,728,513	1,435,514,922
(3) 投資	30,500,000	30,500,000	0	6 剰余金	13,110,470,802	12,194,894,061	915,576,741
(イ)出資金	30,500,000	30,500,000	0	(1) 資本剰余金	6,333,021,629	6,333,021,629	0
2 流動資産	10,424,024,196	9,169,475,073	1,254,549,123	(イ)受贈財産評価額	35,588,458	35,588,458	0
(1) 現金預金	8,153,705,673	6,904,014,714	1,249,690,959	(ロ)国庫補助金	22,204,000	22,204,000	0
(2) 未収金	2,185,518,523	2,083,660,359	101,858,164	(ハ)府補助金	7,955,000	7,955,000	0
(3) 前払金	84,800,000	181,800,000	△ 97,000,000	(ニ)その他資本剰余金	6,267,274,171	6,267,274,171	0
				(2) 利益剰余金	6,777,449,173	5,861,872,432	915,576,741
				資本合計	34,099,714,237	31,748,622,574	2,351,091,663
資産合計	218,595,929,306	222,819,194,915	△ 4,223,265,609	負債資本合計	218,595,929,306	222,819,194,915	△ 4,223,265,609

財務諸表 貸借対照表 (グラフ)



貸借対照表を主な項目で集約しました。

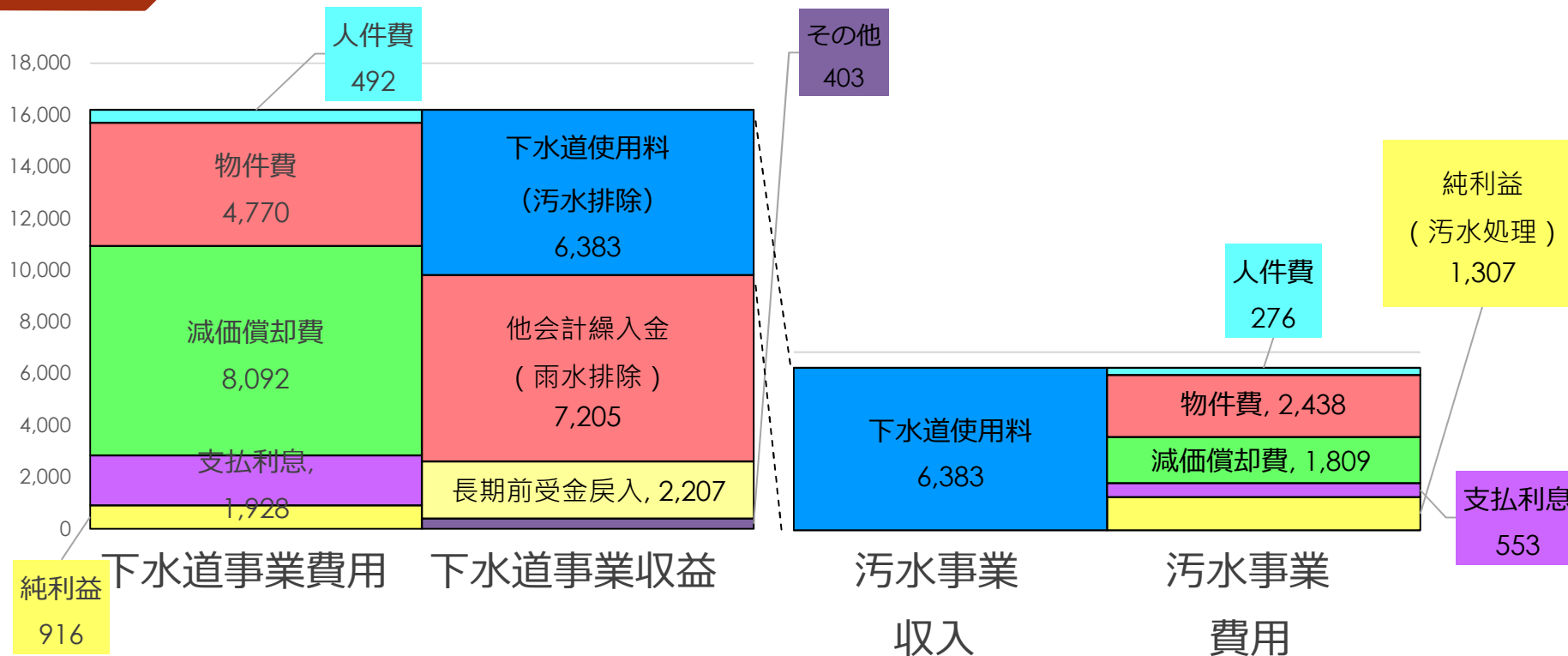
下水道事業はインフラ産業のため、資産（左側）のほとんどが固定資産です。また、その財源（右側）の半分以上が借金（企業債）で賄われています。

借金の返済が進むにつれて企業債の部分が小さくなりますが、同時に現金預金（左側）も小さくなり、厳しい資金繰りとなっていきます。

財務諸表 損益計算書 キャッシュフロー計算書

	令和3年度	令和2年度	増 減		令和3年度	令和2年度
1 営業収益	13,629,330,138	13,763,425,788	△ 134,095,650	I 業務活動によるキャッシュ・フロー		
(1) 下水道使用料	6,383,471,878	6,330,290,573	53,181,305	当年度純利益	915,576,741	371,358,771
(2) 他会計負担金	6,962,481,386	7,180,351,592	△ 217,870,206	減価償却費	8,092,022,203	8,091,745,932
(3) 受託事業収益	282,856,974	166,678,561	116,178,413	資産減耗費	73,588,729	106,331,786
(4) その他営業収益	519,900	86,105,062	△ 85,585,162	退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 22,623,566	△ 5,321,472
2 営業費用	13,210,446,771	13,444,592,195	△ 234,145,424	賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 3,126,000	1,384,000
(1) 管きよ費	570,952,053	588,803,557	△ 17,851,504	法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	△ 152,000	△ 182,000
(2) ポンプ場費	303,354,085	305,082,205	△ 1,728,120	貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 11,447,754	△ 15,110,240
(3) 水質規制費	35,341,087	47,372,668	△ 12,031,581	長期前受金戻入額	△ 2,206,934,792	△ 2,233,467,877
(4) 普及促進費	321,711,217	503,291,486	△ 181,580,269	受取利息及び受取配当金	△ 598,356	△ 380,454
(5) 維持管理負担金等	2,947,738,161	3,066,606,506	△ 118,868,345	支払利息	1,928,385,734	2,150,412,406
(6) 受託事業費	252,699,730	121,155,515	131,544,215	未収金の増減額 (△は増加)	△ 103,461,428	201,614,764
(7) 業務費	406,099,120	439,790,027	△ 33,690,907	未払金の増減額 (△は減少)	279,224,045	△ 162,378,316
(8) 総係費	206,940,386	174,412,513	32,527,873	その他流動負債の増減 (△は減少)	4,248,201	△ 5,186,007
(9) 減価償却費	8,092,022,203	8,091,745,932	276,271	小計	8,944,701,757	8,500,821,293
(10) 資産減耗費	73,588,729	106,331,786	△ 32,743,057	利息及び配当金の受取額	598,356	380,454
営業利益	418,883,367	318,833,593	100,049,774	利息の支払額	△ 1,928,385,734	△ 2,150,412,406
3 営業外収益	2,569,138,517	2,594,951,882	△ 25,813,365	業務活動によるキャッシュ・フロー	7,016,914,379	6,350,789,341
(1) 受取利息	598,356	380,454	217,902	II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
(2) 他会計補助金	242,704,032	245,756,699	△ 3,052,667	有形固定資産の取得による支出	△ 1,788,257,943	△ 3,236,898,090
(3) 長期前受金戻入	2,206,934,792	2,233,467,877	△ 26,533,085	有形固定資産の売却による収入	0	372,673,899
(4) 雑収益	118,901,337	115,346,852	3,554,485	無形固定資産の取得による支出	△ 113,862,080	△ 369,311,357
4 営業外費用	2,072,445,143	2,301,196,552	△ 228,751,409	国庫補助金等による収入	608,181,818	958,545,455
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	1,928,385,734	2,150,412,406	△ 222,026,672	工事負担金等による収入	0	2,033,001
(2) 雑支出	144,059,409	150,784,146	△ 6,724,737	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,293,938,205	△ 2,272,957,092
経常利益	915,576,741	612,588,923	302,987,818	III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
5 特別利益	0	343,747	△ 343,747	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	6,724,000,000	7,479,300,000
(1) その他特別利益	0	343,747	△ 343,747	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 12,632,800,137	△ 12,438,493,754
6 特別損失	0	241,573,899	△ 241,573,899	他会計からの出資による収入	1,435,514,922	1,466,535,740
(1) 固定資産売却損	0	241,573,899	△ 241,573,899	他会計への操出による支出	0	△ 119,956,500
(1) 過年度損益修正損	0	0	0	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,473,285,215	△ 3,612,614,514
当年度純利益 (△純損失)	915,576,741	371,358,771	544,217,970	資金の増加額 (又は減少額)	1,249,690,959	465,217,735
前年度繰越利益剰余金	834,473,531	1,537,114,760	△ 702,641,229	資金期首残高	6,904,014,714	6,438,796,979
当年度末処分利益剰余金	1,750,050,272	1,908,473,531	△ 158,423,259	資金期末残高	8,153,705,673	6,904,014,714

財務諸表 損益計算書 (グラフ)



損益計算書を性質で集約しました。

汚水事業の収支は黒字となっており、今後も黒字を維持する見込みですが、借金の返済額が多額のため、この黒字額では足りないのが現状です。

※純利益は全体で約9億1千万円で、汚水事業は約13億円と差額がありますが、この差額は別途、資本的収入の出資金でいただいています。

用語説明①

用語	説明
収益的収支	<p>公営企業の経営活動に伴い発生が予定される全ての収益とそれに対応する全ての費用のこと。</p> <p>収益的収入については、サービスの対価として料金収入を主とする「営業収益」、受取利息、他会計補助金等の「営業外収益」、固定資産売却益等の「特別利益」からなる。</p> <p>収益的支出は、サービスの提供に要する人件費、減価償却費、物件費等の「営業費用」、支払利息等の「営業外費用」、固定資産売却損等の「特別損失」及び「予備費」からなる。</p>
資本的収支	<p>公営企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金等の支出とその財源となる収入のこと。</p> <p>資本的収入には企業債、出資金、国庫補助金などを計上し、資本的支出には建設改良費、企業債償還金などを計上する。</p>
企業債	<p>公営企業が行う建設、改良等に要する資金に充てるために起こす地方債のこと。</p>

用語説明②

用語	説明
建設改良費	公営企業の固定資産の新規取得または増改築等に要する経費のこと。
繰入金	公営企業の目的とされる事業の遂行に必要な財源に対して、必要により一般会計（地方公共団体の会計の中心をなすもの）から繰入れられた資金のこと。
長期前受金戻入	施設建設時の国庫補助金等の収入を減価償却に合わせて戻入されるもの
減価償却費	公営企業会計では1年度ごとに支出と収入を集計する期間損益計算を行います。（財務諸表の損益計算書） その際に、車の購入や施設の建設などの固定資産の取得費用を上記の期間損益計算に反映させるために、固定資産を取得してから使えなくなるまでの期間で、取得費用を均等割りして、1年度ごとに見積もる費用のこと。